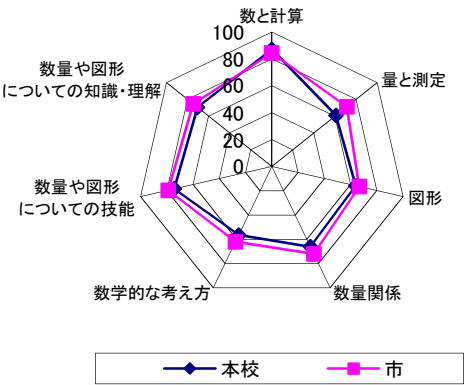


宇都宮市立岡本小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	87.0	84.3
	量と測定	61.0	71.3
	図形	64.0	66.7
	数量関係	66.1	72.1
観点別	数学的な考え方	56.4	62.0
	数量や図形についての技能	74.2	78.8
	数量や図形についての知識・理解	70.5	74.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は宇都宮市よりやや上回っている。分数の乗法、除法のほとんどの問題において85%以上の正答率を示しており、計算する力は定着していると言える。しかし、分数の除法の文章題では、題意が捉えられず、乗法にしまったり、割られる数と割る数を逆にしまったりする誤答があり、正答率が60%を下回っている。	・分数や小数の四則計算の基本的なやり方を復習するとともに、朝の学習や家庭学習において計算練習に取り組ませ、いっそうの力の伸長を図る。また、文章題では、問題文にある数値の関係をとらえるために、図をかいたり、整数に置き換えて考えたりする方法を指導し、正しく立式できる力を養う。
量と測定	・平均正答率は宇都宮市より大きく下回っている。ひし形の面積を求めたり、円の面積を求めたりする問題に誤答が目立った。また、時速を分速に直す問題では正答率が30%を下回っており、速さの単位の関係についての理解が不十分である。	・面積や体積については、それを求める公式を、その意味とともに復習し、正確に求めることができる力を養う。また、速さについても、「速さ」「時間」「道のり」の意味や関係、それぞれを求める公式を確認し、多くの問題に取り組ませることによって定着を図る。さらに速さの単位についても時間の関係を確認させることにより、理解を深める。
図形	・平均正答率は宇都宮市よりやや下回っている。特に、前学年の学習内容である正多角形・円周の問題では正答率が60%を下回っており、定着が不十分であると言える。また、線対称の軸の数を問う問題での誤答が多かった。	・円を使って正多角形をかいたり、半径から円周を求めたりするような、前学年の図形に関する基本的な内容を確認し、反復練習を行う。また、線対称や点対称についても復習し、作図などを通して力の定着を図る。
数量関係	・平均正答率は宇都宮市より下回っている。文章を読んでそれを文字を使った式に表すことはおおむね身に付いている。しかし、比例の関係にある2つの数値を文字の式に表す問題では、宇都宮市の平均正答率よりも大きく下回っている。また、百分率とグラフの問題では、本の数と割合を混同した誤答が目立った。	・比と比例についてその意味を確認させ、式に表したり、1つの量から他の量を求めたり、比の値を求めたりする問題に繰り返し取り組ませる。また、前学年の学習内容である百分率について復習するとともに、他教科等でも百分率で表された数値やグラフなどに着目させ、読み取らせることによって理解を深める。